

令和8年6月9日

保護者様

岡山県立倉敷琴浦高等支援学校
校長 吉田 義 則

気象警報発令時・地震発生時等の対応について

本校は通学区域が広く通学方法も多様です。また、地域によっては公共交通機関の便が悪く、通常の登校時間の便に乗り遅れると次の便がないという状況があります。

そこで本校では、生徒の安全のため、令和8年5月29日に変更になった気象情報に基づき、気象警報発令時及び大地震発生時の対応について次のように判断しますので御理解、御協力をお願いします。

記

Ⅰ 気象警報発令時

登校状況	状 況	判 断
登校前	①午前6時の時点で、倉敷市に特別警報または危険警報、警報（氾濫、大雨、土砂災害、高潮、暴風、波浪、大雪、暴風雪のいずれか）が出ている場合	臨時休校
	②午前6時以降に、倉敷市に特別警報または危険警報、警報（氾濫、大雨、土砂災害、高潮、暴風、波浪、大雪、暴風雪のいずれか）が出た場合	登校を見合わせてください（臨時休校とすることがあります）
	③居住地に特別警報または危険警報、警報（氾濫、大雨、土砂災害、高潮、暴風、波浪、大雪、暴風雪のいずれか）が出た場合	登校を見合わせて、その旨を学校に連絡してください（家庭学習日とします）
	④倉敷市、居住地のいずれにも特別警報や警報は出ていないが、危険と思われる場合	登校を見合わせて、その旨を学校に連絡してください（家庭学習日とします）
	⑤その他、特別警報や警報の有無にかかわらず、学校や道路の状況等により臨時休校にする場合	学校からその旨を連絡します
登校後（在校中） 倉敷市に特別警報または危険警報、警報（氾濫、大雨、土砂災害、高潮、暴風、波浪、大雪、暴風雪のいずれか）が出た場合	①在校中に気象状況が改善されることが予想される場合	学校待機
	②帰宅する方が危険な場合	学校待機
	③今後警報レベルが上がることを予想され、学校待機が危険な場合	安全を確認して下校させます
	④警報レベル4、5の場合	倉敷市の避難指示に沿って判断します

2 震度5弱以上の地震発生時

登校状況	状 況	判 断
登校前	①倉敷市に震度5弱以上の地震発生の場合	臨時休校
	②居住地域に震度5弱以上の地震発生の場合	登校を見合わせて、その旨を学校に連絡してください。(家庭学習日とします)
登校後(在校中)	①倉敷市に震度5弱以上の地震発生の場合	授業を中止し安全確保します(学校待機後、保護者に引き渡します)
	②居住地域に震度5弱以上の地震発生の場合	学校待機後、保護者に引き渡します
休日の翌日		原則、臨時休校 (学校が安全に学習できる環境に復旧すれば保護者に連絡します)

※震度4以下の地震発生時は、通常通りの授業となりますが、被害状況を踏まえて臨時休校や下校等の判断を行う場合があります。

※余震の状況、学校施設や通学路の状況等、安全確保上問題が生じる場合は、臨時休校や授業の繰り下げ等を行う場合があります。

※「家庭学習日」の判断の場合は、ICTを活用した授業を想定しています。

※ 必要に応じて「楽メ」等で御連絡をさせていただくことがありますが、各御家庭でも御判断いただきますようお願いいたします。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5	氾濫特別警報	大雨特別警報	土砂災害特別警報	高潮特別警報
警戒レベル4	氾濫危険警報	大雨危険警報	土砂災害危険警報	高潮危険警報
警戒レベル3	氾濫警報	大雨警報	土砂災害警報	高潮警報
警戒レベル2	氾濫注意報	大雨注意報	土砂災害注意報	高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

この表に掲載されていない警報(暴風、波浪、大雪、暴風雪)や注意報(強風、波浪、大雪、風雪、雷、乾燥等)は変更ありません。

注)「特別警報」とは、数十年に一度の割合で発生が予想される気象現象すべてが対象となります(氾濫、大雨、土砂災害、高潮、暴風、波浪、大雪、暴風雪)。また、大規模な地震、津波、火山噴火も特別警報の対象となります。

・「居住地域」とは、お住まいの市町村(岡山市・玉野市・早島町 等)のことです。

